

「提言(案)(H15.11.18 版)」に関する委員のご意見

栃本委員

河川管理の一体化

直轄管理区間、指定区間ともに一級河川は国が管理すべき。

集水を含めた環境の再生、水循環を正常化させる

雨水の地下浸透型まちづくりが必要。雨水排除の考えではだめ。

河川敷を含めて、水中についても、人の影響の及ばないサンクチュアリーづくりが今の人間赤潮の日本では、不可欠である。

- ・ 21、No22. :「おおむね」「およそ」が多すぎる。表現の工夫が必要。
- ・ 23 :「古くから人の暮らしとの」「古くから人々の暮らしと」
- ・ 26 :「約」は2箇所あるが「平均」か？
- ・ 27 :「冬季には」「冬季には大きな」
「瀬切れが発生した」「瀬切れが発生する」
「龍野付近」「龍野市 付近」？
- ・ 28 :「自然環境への影響」「自然環境への悪い影響」
- ・ 29 :「姫路市を中心に」「姫路市網干区を中心に」
- ・ 113 :「市民」「住民」
- ・ 117 :「大分される」「二分される」
- ・ 118 :「知水 知水」「減水 減水 (かぎかっこを取る)」
- ・ 122 :「に重点をおいたため～」「のみが目標であり自然環境を破壊し続けた。」
その後はカットする。
- ・ 126 :(ハードウェア)と(ソフトウェア)を省く。その後の 128 も同様
- ・ 128 :(3行目)「ソフトウェアとして」を削除する。
- ・ 135 :「洪水が一気に流出しないように」「雨水が一気に流出しないように」
- ・ 137 :「農地面積…わずかに減少…」とあるが、現状で農地の1/2程は休耕状態にある。
工業用水量(淡水)(淡水)はカットしてはどうか。
- ・ 138 :「小さい頻度ながら異常小雨の発生は…」「小さい頻度」かどうか？
- ・ 141 :「生息状況」「生息環境」
- ・ 145 :「新規制度の構築」「現行制度の柔軟化」具体的に。
- ・ 174 :組織・仕組み・システムの構築 「組織」「仕組み」「システム」の意味の使い分けは？
- ・ 206 :「意見が流域委員会では根強い」とあるが、当委員会では、全員ほぼ賛成でしょうか？ 「根強い」のではなく、現実にそうであると私は考えております。
- ・ 207 :井堰周辺での土砂の堆積は、河床の礫間の空間を無くし、河川の自浄能力を低下させ、砂礫中に産卵する水族の繁殖障害を起すものである。

- ・ 210 : 「手戻り困難」 何故か？
- ・ 213 : 「環境影響が」 「環境破壊が」
最後の 2 行の意味が分かりません
- ・ 219 : 森林の高い流出抑制効果は、山間部だけでなく、中・下流地域でも波及するのではないか？
- ・ 220 : 「森林管理」(山間部の)だけでなく、中・下流全域における、雨水の地下浸透構造を考える。
- ・ 221 : 「流域を被う地面を人工化することは・・・好ましくない」
「流域(集水域)の地下への雨水浸透を妨げる構造は、流水面だけでなく、河川環境にとっても不都合なものである。」
- ・ 229 : 「降雨遮断」？
- ・ 231 : 「背反する場合も多くあり」 「背反するものであり」
「一つの事業を優先する上で他の事業を犠牲にすることもしばしば発生する。」
「従来は、治水・利水のみを考えた事業を進めたため、自然環境の破壊を大きなものとしてきた」
- ・ 246 : 145 と同じく、具体的な表現にする必要がある。
- ・ 252 : 「夏緑広葉樹林」 「落葉広葉樹林」の方が一般的。
- ・ 255 : 「前川合流部付近」の地名は？
- ・ 261 : 「ヤナギ林の伐採」 ヤナギは治水上良いのでは？
- ・ 263 : 「揖保川の河床に湧き出る伏流水は扇状地河川の特徴であり、・・・」
これは、上・中・下流の全てにおいてか？
- ・ 264 : (アユを対象に魚道評価を行った場合) これは、従来の魚道がアユを対象として、設計されたものが大部分であるため、遊泳力の弱い魚類、河床をほふくする水族への配慮が欠如していた。
- ・ 266 : 「本来なら河川にはない」 「本来なら河川環境にはない」
- ・ 271 : 「在来の同一種」 「在来種と同一で」
- ・ 272 : 「生態系のバランスを崩すような放流を行わなくともよい河川環境を整備していく」 「アユは天然の遡上が完全に行われること、オオクチバスなどの有害水族の密放流は、断じて行わせない」
- ・ 274 : 「ヤナギによる樹林化」の問題点は？
- ・ 276 : 「まだこれらの生き物は点在している所も残っている」 「点在して残っているところもある」
メダカなどは、生息空間さえ維持してやれば、繁殖力の旺盛な魚であり絶滅危惧種にならないですむものである。
- ・ 278 : 「保水能力などに差がある」 「保水能力に劣る」
- ・ 288 : 平水流量の減少は、雨水の一气流出が大きな要因ではないか？
- ・ 291 : 「影響を及ぼす」 「自浄作用を高める」そのためにも、堆砂問題を解決しなくてはならない。
- ・ 292 : 「水質障害」 「水質変化」？
- ・ 294 : 「5) 沿岸域における地下水の塩水化」 河口付近？

- ・ 295 : 「治水、利水の役割・・・」 「治水、利水のみ」
「市民」 「住民」又は「人々」
- ・ 300 : 「面的に流れる」？
- ・ 301 : 「面的なまちづくり」？
「水循環の再生」 「水循環の正常化」
「雨水地下浸透施設の整備」 「雨水地下浸透施設だけでなく、街の構造をその
方面に」
- ・ 302 : 「相対立する局面が生じることも予想される」 「自然環境の破壊に通ずることを啓発し、納得させる。」
- ・ 303 : 「人工的に整備された高水敷は、河川本体の自然環境とは異なる」
「自然環境を破壊するものであり」
- ・ 305 : 「整備と併行して、揖保川本来の生態系を目指した整備によって・・・」
前者の整備は「工事」？ 後者の整備は「自然再生」？
- ・ P41 : 用語解説は、「 」よりもこのページのように、そのページ内に注釈を入れたほうが理解しやすい。

中農委員

- ・ 「 . 整備計画のあり方」の「4 河川空間の利用」 「4 . 河川空間利用」
- ・ 165 ~ No.172 :
「(1) 歴史文化の蓄積を生かした川づくり」 「歴史文化の蓄積を生かす」
以下タイトルから「川づくり」をとる。
- ・ 274 : 「土砂流入の防止対策」を入れる。(例えば矢作方式など)
- ・ 293 : 「雨水の地下浸透」を入れる。